

平成20年度江南市地域まちづくり補助金事業報告会 開催結果

昨年6月に江南市の市民活動の拠点として開館した市民・協働ステーション（地域情報センター2階）を広く開放的に利用して、平成20年度江南市地域まちづくり補助金事業報告会を開催しました。



《日時》
平成21年3月28日(土)
午後1時30分～3時30分
《場所》

市民・協働ステーション
(地域情報センター2階)

平成20年度江南市地域まちづくり補助金審査状況等について、審査委員会の加藤会長よりお話しいただきました。

この補助金は、2つ以上の団体が協力して行う地域を良くしていこうという新規の事業に対して、資金面でサポートするために平成20年度に新設された制度です。市はこの制度をきっかけにして、市民の皆さまに地域について考え、地域の自治力を高める活動を始めてもらいたいと考えています。平成20年度採択の3事業はその第1号として、様々な苦勞を乗り越えながら地域力の向上に取り組んでくださいました。皆さまもこれに続き、補助金を有効に利用して地域課題の解決や地域活性化のための活動を始めませんか。

①江南市に花いっぱい、元気いっぱい

代表団体：飛高ボランティア協議会

古知野区と協力し、花期が長く雑草抑制の効果がある「花かたばみ」を道路脇に植付しました。

荒れていた道路脇が整備され、綺麗なピンク色の花で飾られた景観を見ると、心癒されます。また、地域住民が力を合わせて作業することで、人がつながり、輪が生まれたと感じています。

今後は活動を市内各地に広めて、「花かたばみ」を藤に次ぐ市の花にしたいと考えています。

《審査員講評》

- ・この事業に関わった区民は、地域への愛情が大きくなったのではないかなと思う。
- ・いつも車で通過していて気付かなかったが、今度、歩いて成果を感じたいと思う。
- ・今回の80mの成果を100・200mと伸ばし、活動を少しずつでも広げてほしい。

②ウッドバーニング（焼き絵）

代表団体：ウッドバーニング さくらんぼ

保育園の保護者会と協力し、親子で行う焼き絵づくりの場を提供しました。

共に作業することは、親子のふれあいにつながったと思います。また、仕事等で参加できなかった保護者の方からも、この事業が家で話題になり、会話のきっかけになったと嬉しい意見をもらいました。

今後は公民館など公共施設を活用し、市民へ生涯学習の機会を提供していきたいと考えています。

《審査員講評》

- ・子供たちが自然素材に触れることはとてもいい事であり、貴重な機会を設けてもらったと思う。
- ・子供たちの歓声が聞こえてきそう。
- ・焼き絵を通した絆づくりを親子に留めず、高齢者と子供など次のコラボを考えて飛躍してほしい。



③楽器による音楽演奏と朗読〔地域の昔話〕

代表団体：『心にきれいな花を咲かせましょう』

小学校PTAと協力し、地域の発展に貢献した偉人（蚕の神様 治右衛門）の話を音楽にのせて紹介しました。

生徒さんから市の伝統産業「養蚕」を知るきっかけになったと手紙をもらい、とても嬉しく思いました。また、楽器（トーンチャイム）やまゆを実際に手にした子供たちはいい笑顔をしており、広大な感性の養成につながったと感じました。

今後は図書館などでの活動も予定しています。市民の心の成長に少しでも貢献できればと思います。

《審査員講評》

- ・郷土愛を育てるのは難しいことだが、音楽にのせて話を聞くと引き込まれやすい。
- ・子供たちが江南市を知り好きになるきっかけになり、他の町の人に伝える心が育ったと思う。

この補助金は、一人ひとりの市民がまちづくりに関わっていけるようにと新設されました。まちづくりは人づくりだと言われます。今回3事業の成果報告を聞いて、その意味を痛感しました。人と人がつながって実現したこれらのまちづくり事業を今後も継続し、江南市民の輪をもっと大きなものにしてもらいたいと思います。